



甲賀の自然

第12回 フクロウが鳴く季節

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

2月の夜、多くの生き物はまだ冬ごもりですが、フクロウは本格的に鳴き始めます。

皆さんは、お家の近くでフクロウの声を聞いたことがありますか? 「ホーホー・ゴロスケホッホ! 」と聞こえますが、ホーホーの後に数秒の間があります。

2月はフクロウが子育ての「なわばり」を確定し、繁殖相手を決める時期です。子育てする森の近くでは、一晩中鳴き交わす声がしたり、時には「なわばり」をめぐり、他のフクロウと激しく争ったりすることもあります。

3月には雌が樹洞の巣で卵を産み、4・5月の餌が多い時期にヒナが大きく育ちます。鳴き声は春までよく聞かれます。「昔はフクロウの声をよく聞いたのに最近…」と言う方がおられます。フクロウは、巣をつくる大木の洞が減り、住宅難のようです。安全な

巣がないと、テンやキツネ等に襲われやすいのです。しかし、子どもの森や水口の住宅地付近でも、毎年声が聞かれます。本来は、小さな神社などにも住み着く身近な鳥です。



▲フクロウ (自然館のはく製)

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**

☎ 63-6712 ☎ 63-0466

2月の休園日

1日(月)、8日(月)、12日(金)、15日(月)、22日(月)

甲賀市文化協会

連合会文芸欄

岩上短歌教室

・八十の坂こえ早も三年すぐ一日一日を懸命に生く
楽しくて寒さを忘れゲートボールコートを駆ける冬日みじかし

東 みき

・溶けてゆくバターの匂ひ好むれど朝餉はやはりご飯頂く
優勝にファンのよろこび大歓声来季も見せてビックブレーを

大野 澄子

・賑やかに一夜語りし旧友等々と別れ惜しみて湯の山を去る
山深きミホミュージアムを訪ずるに紅葉美し目を奪われる

長 悦子

・紺碧の空に聳える銀杏の木藍とこがねの色鮮やかに
欲ばかり甲斐性に過ぎる歌づくり何時も指折りかぞえおり

治武 美代

・畑の側河川の改修は生まれり重機の動きにあわせ菜をひく
雨の午後クイズに挑戦と気負えども仮名語解せぬ老のかなしき

鈴木 貞子

・うす明かる外燈の灯の侘びしさに今夜の冷気ひとしおなりし
主亡くて瓦づり落ちる軒先に柿の実熟れる秋深まりし

竹田 貞子

・永源寺の頂上見上げもみじ坂その絶景に心うたるる
波しづか三方五湖の島めぐり情緒ゆたかな湖畔の景色

中島 たき

・黄昏の空には薄き茜雲広がる中に月影淡き
隣の子どんぐり三つ握りしめ吾れにくれると得意に言ふ

山田 美代子

水口町文化協会

